

# 新年のあいさつ

芽室町民の皆様、新年あけましておめでとう  
ございます。

皆様におかれましては、ご家族ともども穏やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から町政に對しまして深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年「新型コロナウイルス感染症」が継続的にまん延し、感染に不安を抱きながらの1年となりました。ただ、当初の感染拡大時と比較しますと町民の皆様の「新型コロナウイルス」に対する危機感、不安感は少し変化してきたように感じます。

また、行動制限等もない中で「3年ぶりの〇開催」などのマスコミ報道がなされ、社会・経済活動を「ウィズコロナ(新型コロナウイルスとともに)」の意識の中で復活させていく状況になってきたと感じるところです。

今年の一文字

# 再

一方、新たな課題として国際紛争の影響などによる「物価高騰」が我が国を直撃し、国民生活や産業・経済活動に大変大きな負担・圧力となつ

てのしかかってきております。

町といたしましては、新型コロナ

コロナ対策としてはワクチン接種や予防活動の啓発・推進などを継続し、物価高騰対策としては長期的な影響も予想されることから、国・北海道とも連携しながら、生活支援や経済対策など、町としてできる支援策について継続的に検討、実施していかねばならないと考えております。

さて、基幹産業である農業の昨年の生産額は、約333億円となり、過去最高だった一昨年に次いで2番目の生産額となりました。しかし、生産に要する費用の高騰や生産抑制を余儀なくされる品目もあるなど、持続的、発展的な農業振興に向けて懸念される課題に對してしっかりと対応しなければならぬと考えております。

また、新型コロナ対策、物価高騰対策などの課題に加え、新たに産業、教育、保健・医療・福祉といった幅広い分野と行政手続きなどにおける「デジタル化の推進」、ゼロカーボンへの取り組みなども重要課題と捉えており、早期実現に向けて取り組みを進めたいと思っております。

さらに「住んでいる方々が生き生きするまちづくり」が当然ベースになくはならず、次代に向けての人財育成、郷土愛や地域コミュニティの醸成、町民生活環境の充実、世代ニーズに



合わせた行政サービスの提供など、幅広い政策を実行してまいります。

これらの町政課題に向けての想いとして、毎年お伝えしている今年の一文字は「再」といたしました。昨年7月には多くの町民の皆様にご支援いただき「再」び町政を担わせていただくこととなりました。新型コロナウイルスや物価高騰からは復興「再」生を目指す必要がありますし、「公立芽室病院」「新嵐山」「まちなか」など「再」生・「再」興にチャレンジしなければならぬ課題があります。また、まちづくりの基本となる「第5期芽室町総合計画」も前期4年が終了し後期計画として「再」スタートします。

これまで先人が築いてきた町の歴史や経過、功績も重んじながら、私自身初心に帰り、新たな時代、新たなまちづくりに向けて力強く「再」スタートしたいと思っております。

本年が町民の皆様にとってご家族ともども健康で、幸多き1年であることを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

芽室町長 手島 旭





こうこうせい  
高校生CLUB Party Nightスタッフのみなさん

▲Memuro Unite Project、芽室ジモト大学メンバーなどが集まり、イベント也大成功！今年の活躍も期待大です！



やよいにしまちょうないかい こ  
弥生西町町内会子ども会のみなさん

▲田舎のマジシャン加藤さんにマジックを披露してもらったクリスマス会。今年も元気いっぱいナイスな一年にするぞ！



げんうんどうきょうしつさん か しゃ  
まる元運動教室参加者のみなさん

▲毎週火曜日、みんな笑顔で、まるごと元気に！どんどん若返っちゃって困っちゃう！



いっしんくん

そうしんくん

▲新しい家族が増えました☆ミ  
たよりになるにいに！今年も沢  
山抱っこしてね♡仲よし兄弟に  
な一れ月



スピードスケート



こんげつ とくしゅう しんねん ほうふ  
今月の特集は「新年の抱負」です。  
今年が明るく楽しい1年になる



だいじ 題字  
かわすみ 川角 芽生さん(9歳)  
まち みな えが お しゃしん  
町の皆さんの笑顔の写真とともに、  
ことを願っています。



と かし  
十勝スカイアースのみなさん

▲芽室町をスポーツの力で元気に！



フィギュアスケート



スキー

ふゆ ぜんどうたいかい しゅつじょう  
冬の全道大会に出場する  
中学生のみなさん



バドミントン



バスケットボール



なかむら はる  
中村 葉琉さん

岩波 虹恋さん  
平野 聖真さん  
佐藤 あいりさん  
岩波 獅騎さん  
竹内 煌星さん  
片岡 大響さん



たいそうさん か しゃ  
ピンピン体操参加者のみなさん

▲ピンピン体操で今年も笑顔で健康な一年に！





12月17日(土)、めむろ駅前ロータリーでイルミネーションイベント『めむクリ』が行われました。当日は町内の子どもたちが作ったハウス型の飾り『めむクリ HOUSE』点灯式が行われ、多くの方が訪れました。今月号では、同日に行われた『高校生 CLUB Party Night』の様子とあわせて当日の様子をお届けします。



▲当日は実行委員の高校生や町民有志らが会場を設営。屋台も出店するなど、駅前が大いに賑わいました



▲ Memuro Unite Base (本通2丁目13-1) で行われた高校生 CLUB Party Night は、現役DJがプレーするなど本格志向。こちらにもユニイトプロジェクトのめむろ大いせきょうに携わり、大盛況となりました



10月ごろからたった2か月間で素敵にめむろのクリスマスを作り上げてくれた実行委員の皆さん。当日は、白樺学園高校サッカー部の皆さんもボランティアでお手伝いしてくれました！興奮冷めやらぬ週明けに実行委員長の大能さんにお話を伺いました。

# めむクリ実行委員会の 高校生の皆さん



- 実行委員長** 大能 妃由さん (帯広南商業高等学校・3年生)
- メンバー** 稲上 昂陽さん (白樺学園高等学校・3年生)
- 藤本 昂太さん (白樺学園高等学校・3年生)
- 廣富 来竜さん (白樺学園高等学校・1年生)
- 吉田 隼都さん (白樺学園高等学校・2年生)
- 嶋 朋輝さん (白樺学園高等学校・1年生)
- 大野 翔舞さん (白樺学園高等学校・1年生)
- 北橋 美桜さん (白樺学園高等学校・1年生)
- 伊藤 みくさん (白樺学園高等学校・2年生)
- 宗廣 琉我さん (帯広南商業高等学校・3年生)
- 高橋 聖弥さん (白樺学園高等学校・3年生)



お話を聞かせてくれたのは...  
実行委員長の大能妃由さん

4月からは札幌の専門学校に進学し、臨床工学技士を目指す大能さん。入学時からコロナ禍での生活で思い描いた高校生活ではなかったそう。それでも「めむクリはやり切った!」と気持ちよくお話ししてくれました。

**学校も学年もバラバラ。でも、想いは一つ。**

12月17日(土)16時、カウンタダウンとともに芽室駅前ロータリーに無数の優しいあかりが灯った。

町内の幼稚園、保育所、小学校の子どもたちが一生懸命作った「めむクリハウス」にあかりがついた瞬間だ。

親子連れを中心に大きな拍手が沸き起こる。学校も学年もバラバラな11人の高校生たちの努力が形になった瞬間でもあった。

**きっかけは「ジモト大学」と「かちフェス」**

今年度から始まった町の事業「ジモト大学」は中高生が地域に飛び出し、地域の大人たちが講師となるなど、地域そのものを多様な教材として、ともに考慮し、ともに芽室愛を育み、ともに未来を創る次世代の人財育成プログラム。

ジモト大学の事業でおこなわれたサイクルツーリズムに参加した大能さんらは、10月に芽室公園で行われた「かちフェス」のボランティアなどを通じて「小さなことでもいいから、自分たちでなにかイベントを創り上げたい」という思いを抱いた。

「芽室町にはクリスマスのイベントがない」と聞き、「ならば高校生の私たちが作ろう!」と一念発起したのが今回の「めむクリ」を作ろうとしたきっかけだそう。

**たくさんの方に町の中心を見てもらいたい**

「はじめは高校生の自分たちが楽しめるイベントと思っていたが、会場となる町の中心部を歩いてみると寂しい感じがした。ならば、この現状を高校生だけでなく、芽室町の皆さんにも知ってもらいたいと思った」と大能さん。そこで、町内の保育所や幼稚園、小学校等に掛け合い、子どもたちにつけてもらった作品を飾ろうと思い立ったそう。子どもが来るには大人と一緒にじゃないという計算はなく、たまたまだったそうだが、その狙いは大成功! 当日は多くの親子連れの姿が目立った。

**対等に接してくれる大人**

**励ましてくれる大人**

**手を差し伸べてくれる大人**

準備の苦労やイベントを終えた感想を伺うと「放課後から活動開始となるため、毎日夜遅くまでミーティングを重ね、企画を練り直し準備を進めました。アドバイスをくださる大人の皆さんは、高校生としてではなく対等に接してくださり、真剣に向き合ってくれました。また、めむクリハウスづくりでお邪魔した幼稚園等では、先生たちが励ましてくれ、高校生ではできない駅前の占用手続きなどではさりげなく手を差し伸べてくれるなど、たくさんの方の力があってこそ、このようなイベントができたと思います。ぜひ、後輩たちにもめむろのクリスマスといえ「めむクリ」となるようにチャレンジしてもらいたいな」と笑顔いっぱい話してくれました。